

Pure Coat<sup>®</sup> [PREMA EDITION]

ピュアコート プレマエディション

## 施工マニュアル

## はじめに

ピュアコート プレマエディションは、フッ素系アイオノマー+光触媒による世界初の特許技術(特許4522886号)を基に、さらなる性能向上や現場施工に適応させたコーティング材料です。

本書は、施工前の確認事項をはじめ、特性や仕様についてわかりやすく取りまとめたものになります。必ず施工前に全工程をご確認いただき、正しい施工を行うための資料としてご活用いただければ幸いです。

## CONTENTS

- 02 はじめに
- 03 塗装工程
- 04 施工方法
- 10 性状と注意事項・注意点
- 11 安心塗装チェックシート



# 施工方法

## ①下地塗膜確認

下地塗膜の乾燥時間はピュアインナーシリーズの塗装間隔時間と順守してください。(16時間以上/23°C)

下地が万全でないと、ピュアコート プレマエディションの白濁化やチョーキング等不具合が発生する場合がありますので、塗装前に再度各所の確認をしてください。

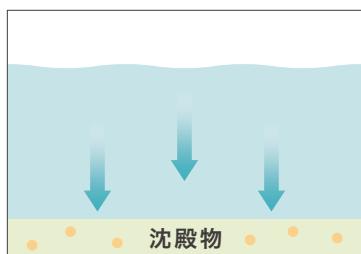
## ②施工準備

### ■攪拌

ピュアコート プレマエディションは光触媒(酸化チタン)が底に沈殿している場合があります。施工前に必ず攪拌を行ってください。

そのまま塗装した場合、塗装ムラ等不具合が発生する可能性があります。

※塗装前は必ず目視で容器の底部に沈殿物がないことを確認してください



まぜる



推奨:インパクト用  
ペイントミキサー



塗装中も

攪拌して吹き付けしている間も、30分～60分を目安にピュアコート プレマエディションを攪拌して、器具内の沈殿や偏りを防止してください。

### ■気象条件

ピュアコート プレマエディションは水性製品であるうえ、ミスト状にして吹き付けするため、右記にあてはまらない場合は施工できません。

天候:晴～曇  
気温:5～40°C  
湿度:80%以下  
風:ビューフォート風力階級4未満

### ■吹き付け準備

塗装器具を水もしくはIPA(イソプロピルアルコール)で十分に洗浄してください。

違う塗料や溶剤に混ざると塗装機が詰まる可能性があります。

# 施工方法

## ■塗装機の仕様

	製品名	口径 (mm)	吐出圧 (MPa)	空気圧 (MPa)
エアコートガン (エアー圧 0.1~0.3MPa)	精和産業社製 ターンWチップ0940	0.23	4~5	0.1~0.3
	ワグナー社製 3000ACチップ9/40または9/50	0.23	4~5	0.1~0.3
エアレス塗装機	精和産業社製 ターンWチップ(ACG用)0940	0.23	4~5	—
	ワグナー社製 トレードチップ2 409	0.23	4~5	—
カップガン (1馬力以上)	口径1mm パターン幅30cm	1.0	—	0.2~0.3

※この塗装機仕様は必ず守ってください

大きな口径のチップを使うとどうなるのか



吐出量が多くなり、ムラやタレの原因になります。

小さい口径のチップを使うとどうなるのか



吐出量が少なくなり、機能不良(親水性不足)になります。

<b>エアコートスプレーガン</b>  +	 精和産業社製 ターンWチップ 0940	 ワグナー社製 3000ACチップ 9/40または9/50	<b>カップガンスプレー</b> (重力式、吸上式スプレー)
<b>エアレススプレーガン</b>  +	 精和産業社製 ターンWチップ(ACG用) 0940	 ワグナー社製 トレードチップ2 409	口径1mm以下

ピュアコート プレマエディションはスプレー塗装専用です

# 施工方法

## ③吹き付け施工

### ■ピュアコート プレマエディション塗装仕様

塗装方法	スプレー吹き付け ※ローラー厳禁	
吹き付け回数	2回	
使用量	1回:0.035~0.045kg/m <sup>2</sup> (2回合計:0.07~0.09kg/m <sup>2</sup> )	
塗装可能面積	89~114m <sup>2</sup> ※2回吹きの面積	
塗り重ね間隔(指触乾燥)	夏	30分
	冬	1時間
親水性確認までの乾燥時間	夏	2時間
	冬	6時間
完全乾燥時間	通年	2週間~1ヶ月

※施工条件や環境によって変化する場合もあります

使用量が少ないとどうなるのか

防汚性(親水性)が弱くなり、ピュアコート プレマエディションの効果がなくなる場合があります。

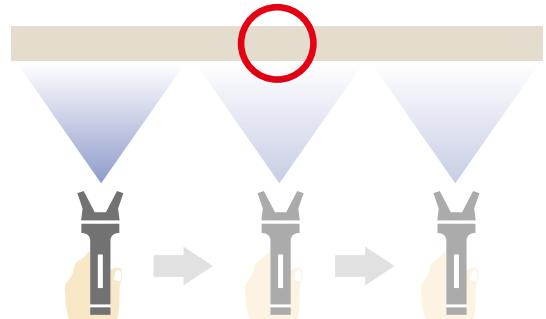
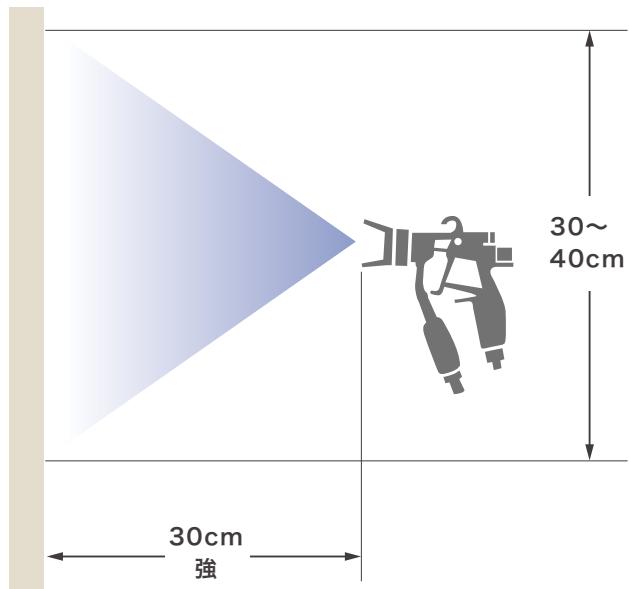
使用量が多いとどうなるのか

塗装後に白濁したり、タレ跡やムラが発生する場合があります。

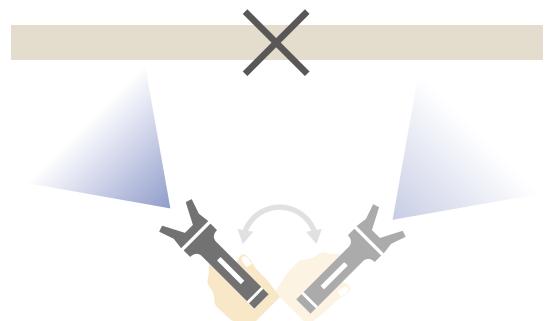
**適量で均一に塗装する事が重要です**

# 施工方法

## ■吹き付け要領



ガンは塗装面に対して垂直を保ち、平行に動かす

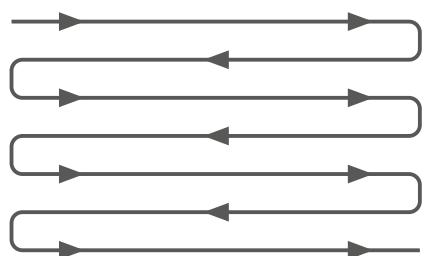


手首は返さない

距離や動かし方に注意してください。塗装面とは可能な限り垂直を保ってください

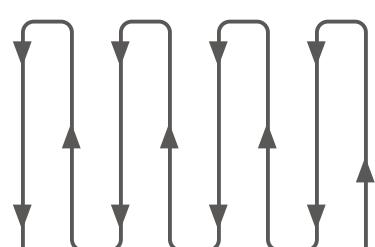
吹き付け速度の目安: 平滑面1m<sup>2</sup>を30~50秒で塗装

凹凸面1m<sup>2</sup>を30~60秒(少し長め)で塗装



横吹き

※手首を返さない

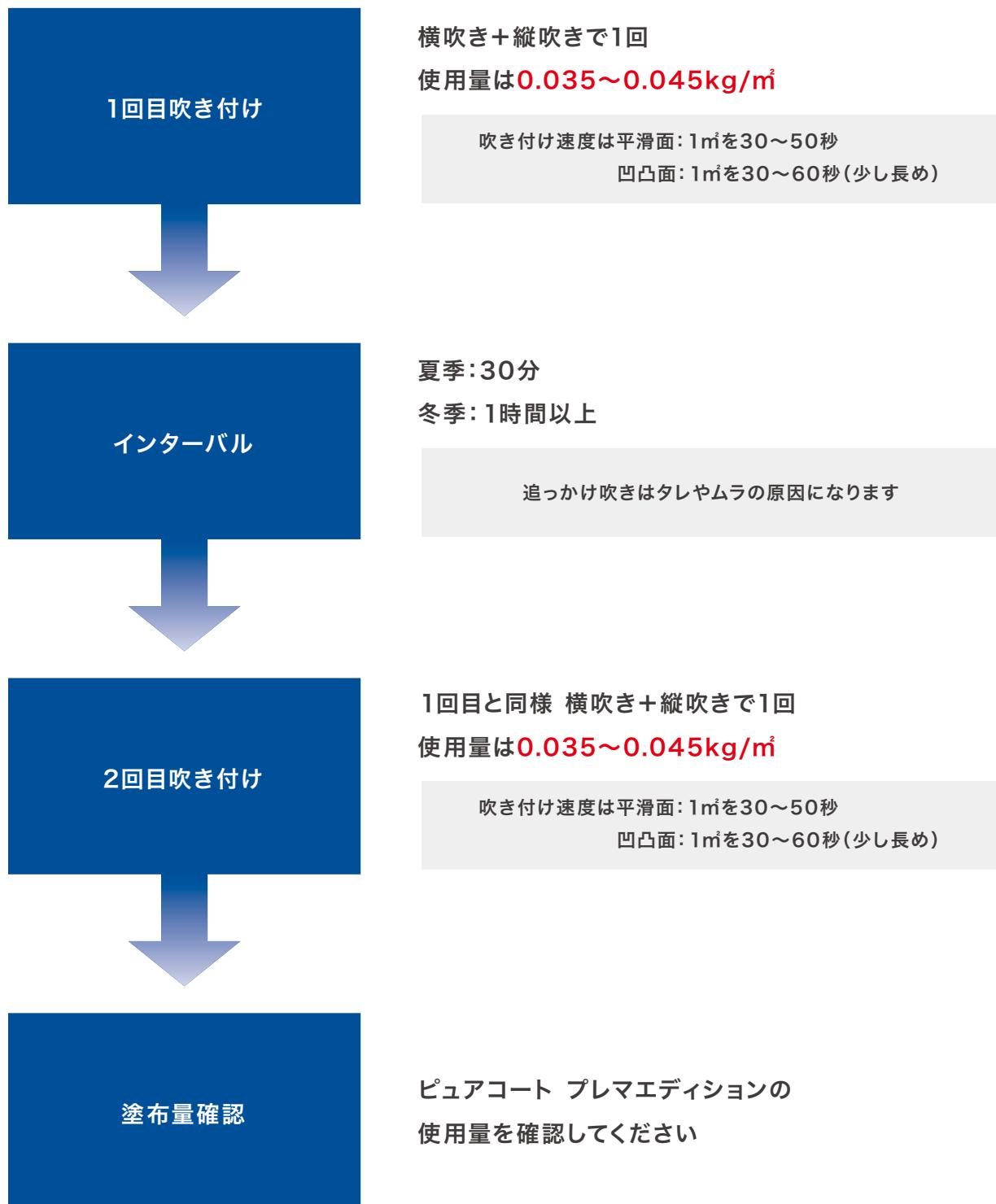


縦吹き

※手首を返さない

横に吹き付け、縦に吹き付けて1回です。2回目のインターバルにも十分注意してください

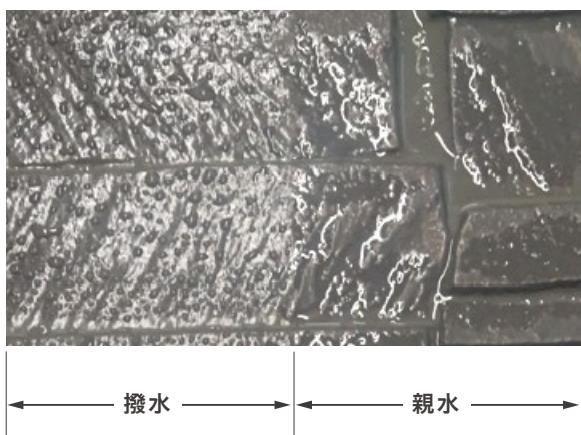
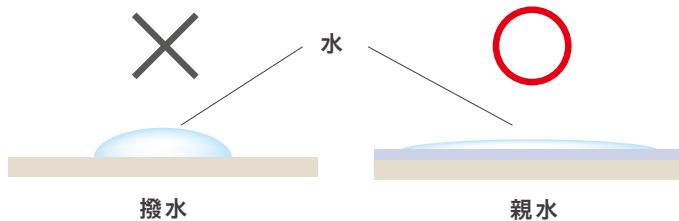
## ■吹き付け工程



# 施工方法

## ④親水性確認

霧吹き器による親水性を確認します。塗膜が十分に乾いてから行ってください。



ピュアコート プレマエディションが正しく塗装された箇所は表面が親水性になっています。

従って、塗装面に霧吹き器などで水をかける事により正常に塗装できたかどうかを確認することができます。

霧吹き器等で親水性を確認する際は、  
ピュアコート プレマエディション塗装後

夏季: 2時間以上 冬季: 6時間以上  
※十分塗膜を乾燥させてから行ってください

乾燥してないうちに水をかけると、ピュアコート プレマエディションも水と一緒に流れ落ちる可能性があります。

## ⑤完了

タレ跡や吹き付けムラがないか全体の仕上がりを確認します。

### ■補修方法

#### キズ等の小規模な補修

刷毛等で薄く塗ってください。  
(十分にしごいた刷毛等で1回塗り)

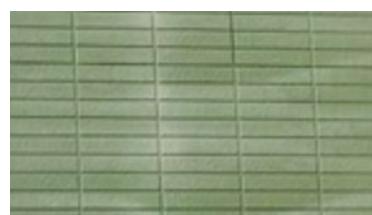
#### タレ

乾燥前: すぐにウエスでふき取り乾燥後、下塗りからの再塗装を行ってください。  
乾燥後: イソプロピルアルコールでふき取ってから、下塗りからの再塗装を行ってください。



#### ムラ

下塗りからの再塗装を行ってください。



#### 親水性が弱い

再度、晴天時にピュアコート プレマエディションを再施工してください。(原因としては、下塗施工後の養生時間が短かった、湿度が高かった、降雨の影響等が考えられます。)

完全乾燥したピュアコート プレマエディション塗膜はリコートができます

## 性状と注意事項

荷姿	12Lポリ容器:8kg
液性状	乳白色液体、アルコール臭
消防法による危険物区分	非危険物
安衛法表示対象物質	イソプロピルアルコール(IPA)
比重(at25°C)	0.9
粘度(at25°C/イワタカップ)	8.0±2.0sec
pH	8.0~11.0

●ピュアインナーカラー、ピュアインナーUVクリヤーは3分艶程度ですが、ピュアコート プレマエディション施工後はさらに落ち着いた艶に仕上がります。基材や施工方法によって艶の見え方が異なる場合があります。 ●ピュアコート プレマエディションは光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工要領書と異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。 ●ピュアインナーカラーは淡彩、中彩までを推奨いたします。濃色下地に使用した場合、白度が上がりムラの要因となる恐れがあります。 ●ピュアコート プレマエディションはご購入から3か月以内、開封から14日以内にご使用ください。 ●光触媒効果は紫外線の当たらない箇所、雨水のかからない箇所では効果を十分に発揮できません。光触媒は表面を親水性にして親油性の汚れに対し効果を発揮します。親水性の汚れには効果はありません。また、以下の条件でも効果を十分に発揮しませんのでご注意ください。・建物の構造上汚れがたまりやすい箇所・内部からの水まわりに起因するもの・無機系汚れや小動物の糞、樹液など局所的な汚れ・釘部、金属製の化粧部材から生ずる錆やもらい錆・シーリングに起因する汚れ ●施工を行う前に一度試験施工で仕上がりの確認を行ってください。 ●非危険物ですが、無理な扱いをせず、冷暗所で保存し、火器を使用しないでください。 ●廃棄は水性塗料の廃棄方法で行えます。河川や土壤に流さないでください。 ●施工中、気分が悪くなった場合は医師の診察を受けてください。 ●施工中、ヘルメット、保護メガネ、手袋、マスク等安全対策をして、換気には十分注意して塗装を行ってください。

**塗装前にもう一度、本施工マニュアルをご確認ください  
各製品の取り扱いについてはSDSにてご確認ください**

## 注意点

**不具合の原因を知っておけば未然に防げます**

天候条件	塗装方法	下地状態
降雨、降雪等の天候不良 結露 高気温 低気温 高湿度 強風	塗料攪拌不足 不適切な塗装方法 塗装速度が一定しない 吹き付け距離が近い、遠い 吐出量が多い、少ない	未乾燥下地への塗装 シーラー塗り忘れ 下地の吸い込みムラ 下地の乾燥ムラ パテ補修痕 モルタル等の補修痕

**本工法の仕様を  
守らなかった場合は保証書の  
発行ができかねます**

ピュアプライマー、ピュアインナーカラー、ピュアインナーUVクリヤーは、上塗りとなるピュアコート プレマエディションの光触媒作用に分解されにくいよう設計されています。特にクリヤー工法で汎用クリヤー塗料を使用したり、ピュアインナーUVクリヤーの塗布量や塗り回数を守らなかったりした場合、早期に層間剥離、白化が発生する恐れがあります。



中塗り:ピュアインナーUVクリヤー  
上塗り:ピュアコート プレマエディション



中塗り:汎用クリヤー塗料  
上塗り:ピュアコート プレマエディション

スーパーUVテスター 400時間促進後	
中塗り: ピュアインナー UVクリヤー 2回	上塗り: ピュアコート プレマエディション
中塗り: ピュアインナー UVクリヤー 1回	上塗り: ピュアコート プレマエディション

## 安心塗装チェックシート

①塗装年月日 年 月 日

②ピュアコート プレマエディション  
LOT No.(製造番号)

ピュアインナーカラー 色調:

③中塗り  ピュアインナーブラック

下地乾燥状態(下地塗装からの経過時間) 時間:

④塗装面積と  
ピュアコート プレマエディション使用量(缶数) 塗装面積: 缶数:

⑤ピュアコート プレマエディション  
塗装時の天候、気温、湿度 天候: 気温: 湿度:

⑥塗装方法  エアレス  エアコート  カップガン

⑦コンプレッサー:  
チップ  
チップ:

- 施工前に塗装機器の洗浄を行ったか
- 使用前の塗料攪拌を行ったか
- 吐出量は適切か

⑧塗装条件  塗装面との距離は適切か  
 ガンの移動速度は適切か  
 塗装中の塗料攪拌を行ったか  
 1回目と2回目の塗装間隔時間は適切か

⑨ピュアコート プレマエディション  
乾燥時の天候、気温、湿度 天候: 気温: 湿度:

⑩親水性の確認  実施  未実施

⑪補修箇所と  
補修方法  
補修方法: